

警 察 署 協 議 会 議 事 録

協 議 会 名	令和6年第2回宮城県塩釜警察署協議会
開 催 日 時	令 和 6 年 6 月 2 4 日 （ 月 ） 午 後 4 時 か ら 午 後 5 時 ま で
開 催 場 所	宮城県塩釜警察署 大会議室
出 席 者 等	1 協議会委員 ・ 出席委員～鈴木一郎会長、村上タツ子副会長、阿部剛典、阿部力、川瀬実、齋藤基子、山田シズエ、高橋百合子、櫻井和義、磯田光貴 ・ 欠席委員～なし 2 警察署側 署長、副署長、刑事官、副参事、会計課長、警務課長、留置管理課長、生活安全課長、地域課長、刑事第一課長、刑事第二課長、交通課長、警備課長
議 事 概 要	別紙のとおり
備 考	

備考 所定の欄に記載することができないときは、別紙に記載の上、添付すること。

1 報告事項

(1) 管内の治安情勢（署長）

ア 刑法犯の認知・検挙状況（令和6年4月末現在 暫定値）

（ア）刑法犯認知件数 237件（前年比－94件）

（イ）刑法犯検挙率 27.8件（前年比－6 P）

（ウ）重要犯罪認知件数 6件（前年比＋6件）

検挙件数 6件（前年比＋4件）

（エ）重要窃盗犯認知件数 20件（前年比－10件）

検挙件数 2件（前年比－5件）

イ 交通事故発生状況（令和6年5月末現在）

（ア）人身事故 114件（前年比－21件）

（イ）死亡事故 2件（前年比＋2件）

市町村別の1月から5月末までの人身・物損の事故総数は、多い順に

多賀城市 577件（前年比－18件）

利府町 536件（前年比＋51件）

塩竈市 404件（前年比－51件）

松島町 145件（前年比－8件）

七ヶ浜町 67件（前年比－10件）

（ウ）飲酒運転の取締り件数は、8件8人（前年比＋3人）

仙台市内で飲酒し利府街道経由で帰宅途中に事故を起こし発覚するケースが多い。

ウ 特殊詐欺認知状況（令和6年4月末現在 暫定値）

（ア）認知件数 9件（前年比＋1件）

（イ）被害金額 約483万円（前年比＋約110万円）

委員

交通事故について、利府町だけが増加しているのか。

署長

大型施設が増えていることが要因と思われます。

(2) 報告事項（交通課長）

ア 利府町中央三丁目交差点の一時停止標識設置要望

警察において利府町三丁目交差点の交通状況等を調査した結果を踏まえ、本年6月18日に利府町役場と合同調査を実施した結果、

（ア）交差点があると遠方からでも認識できる路面標識を要望。

（イ）交差点内をカラー舗装する。

（ウ）交差点手前に減速標示をする。

ことの結論に至りました。

イ 塩竈市庚塚交差点の南北道路における早朝及び積雪登坂困難時の渋滞解消対策要望

庚塚交差点とその周辺の交通状況等を数回調査した結果、5月中旬に信号現示（サイクル・秒数）を変更しました。

議事概要

信号現示変更の概要は

(ア) 同交差点信号の「南北市道の青を5秒増加」した。

(イ) 横断歩道の秒数は変更なし。

(ウ) 積雪登坂困難時の信号変化時の交通事故を避けるため、全ての信号が赤になる秒数を2秒増加させ、交差点内滞留車両や黄色進入車両が全て交差点を通過するまで、交差側が青にならないようにした。

となります。

委員

対応してもらい感謝申し上げます。

(3) その他意見・要望・提言等

委員

利府町で大型店の出店に伴い犯罪の増加が懸念されるが、署だけでなく機動センターの車両による町内の警戒は可能か。
地域課長

既に機動センターの車両は当署管内に乗り入れして活動をしております。

機動センターは、本部執行隊のパトカーや機動捜査隊の捜査用車両などが拠点としており普段から24時間体制で同所を拠点として全県下を方面ごと警戒しており、管内で事件があれば当署と機動センターのパトカーや機動捜査隊が連携して事案に当たっています。

このように連携は図られていますので安心していただければ幸いです。

委員

外国人研修生の増加に伴い様々なトラブルが予想されるが、相談先や避難先はあるのか。

生活安全課長

警察においては、国籍に関係なく生活安全相談を24時間365日受け付けているところです。そこで事件事故に関係する内容であれば関係部署と連携して対応します。

警察以外でも、各自治体や外国人研修生の受入れ団体等で各々相談窓口を設けて運用しているものと承知しています。

委員

外国人が事件事故に遭遇した場合はどうしているか。

生活安全課長

本県警では、31言語141人の通訳体制を確保しています。
うち、

警察職員が11言語51人

部外の通訳が30言語90人

となります。

委員

塩釜署管内の外国人研修生の人数は把握しているか。

署長

議事概要

把握しています。

委員

外国人に対する交通ルールについては教育しているのか。

署長

交通ルールだけではなく、すべての外国人の安全確保に向け、防犯指導、災害発生時の対応要領などの総合対策を行っております。

委員

交通ルールの教育はどのように行っているのか。

交通課長

外国人就労企業からの交通安全講習の依頼があれば随時実施しています。本年は7月に実施する予定です。

また、日本人と同様に現場でも指導を実施しています。

委員

外国人に対する偏見をなくし、地域で受け入れて行くべきだと思っている。

外国人が困らないような対策は、警察以外でどのようなものがあるか。

生活安全課長

様々なものがあると思いますが、例えば行政機関（仙台市）から、「外国人住人のための生活マナーマニュアル」というリーフレットが発行されています。HPで確認、印字できるもので、塩釜地区の外国人にも十分に活用でき、外国人を守ることができる内容となっています。

委員

塩釜警察署管内の熊の出没状況について、また、出没時にどのように対処すればよいか。

生活安全課長

自治体別の熊の出没状況を説明します。

令和5年

塩竈市	1件
多賀城市	0件
松島町	3件
利府町	2件
七ヶ浜町	0件

令和6年

塩竈市	1件
多賀城市	0件
松島町	6件
利府町	1件
七ヶ浜町	0件

となっております。この数は目撃者から直接警察に通報された数となっております。

地域課長

議事概要

私からは一般的に熊と出くわした時取るべき対処要領を説明します。

- (ア) 熊に無用の刺激を与えないこと
- (イ) 熊の動きに注視しながらゆっくりと離れること
- (ウ) 車で走行中に出くわした場合には、絶対に車から降りず、急いでその場から離れ110番通報することとなります。

委員

塩釜警察署管内2市3町で猟友会員が15名委託を受けている。人的被害があれば、殺処分も仕方がないことである。

熊は一度人に手をかけると、次も同じように人を襲うようになる。

熊が人の前に姿を現すのは捕食のためであり、人を襲うことが目的ではない。猟友会と協力しながら対応して行くべきだと考えている。

委員

塩釜署管内の市町村別特殊詐欺発生状況は。また、発生防止対策は。

生活安全課長

市町村別の発生状況について説明します。

令和6年

塩竈市 5件 (被害総額 1,180,000円)

多賀城市 0件

松島町 1件 (被害総額 1,990,000円)

利府町 2件 (被害総額 860,000円)

七ヶ浜町 1件 (被害総額 800,000円)

となり、管内の発生総件数は9件となり、総額で4,830,000円

です。

防止対策は、高齢者に対する広報として手口や発生状況を周知徹底することが肝要と思われます。

- (ア) 「自分は詐欺の被害に遭わない」と自信を持っている人ほど被害に遭っているのが現状のため、その旨の広報

- (イ) 特殊詐欺の詳細な手口についての広報啓発

- (ウ) 還付金詐欺やオレオレ詐欺のほとんどは、固定電話にかかってくることから、特殊詐欺電話撃退装置付き電話機の普及促進

- (エ) 宮城県警では、毎年、撃退装置付き電話機の購入費用の補助事業を行っている。

- (オ) 当署では、貸し出し用として15台保有

- (カ) 特殊詐欺電話などがかかってきた旨の情報が寄せられた際には、「特殊詐欺予兆電話」として、宮城県警で

議事概要

運営する「みやぎセキュリティーメール」や「特殊詐欺注意報」の発信

(キ) 塩竈市、松島町、七ヶ浜町に対する防災無線での注意喚起要請、多賀城市、利府町に対し安全メールの発信要請（防災無線非対応）

(ク) パトカー、防犯ボランティアの青色回転灯付きパトカー（青パト）による警戒活動

(ケ) 防犯キャンペーン、防犯講話による注意喚起、金融機関、コンビニ対策

等が挙げられます。

5 次回の開催予定

- ・ 次回会議は、令和6年10月下旬ころの開催とする。